



統計スポット情報

No. 36

12.3.31 福井県総務部情報政策課

高齢者等のための住宅設備について

今回は、高齢者や身体障害者などに配慮した住宅設備について、「平成10年住宅・土地統計調査報告」（福井県編）からみてみましょう。

手すりの設置や、浴槽のまたぎ込みの高さに配慮する等の設備のある住宅は、104,900戸と福井県の住宅総数244,300戸の42.9%となっています。

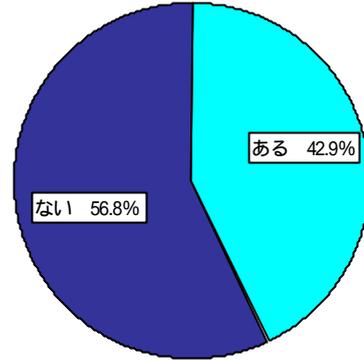
設備ごとにみると「手すりがある」住宅は、74,000戸で住宅全体の30.3%を占めています。

手すりの設置場所をみると「階段」が47,700戸で住宅全体の19.5%と最も多く、以下「便所」が31,100戸12.7%、「浴室」25,600戸10.5%「廊下」4,900戸2.0%と続いています。

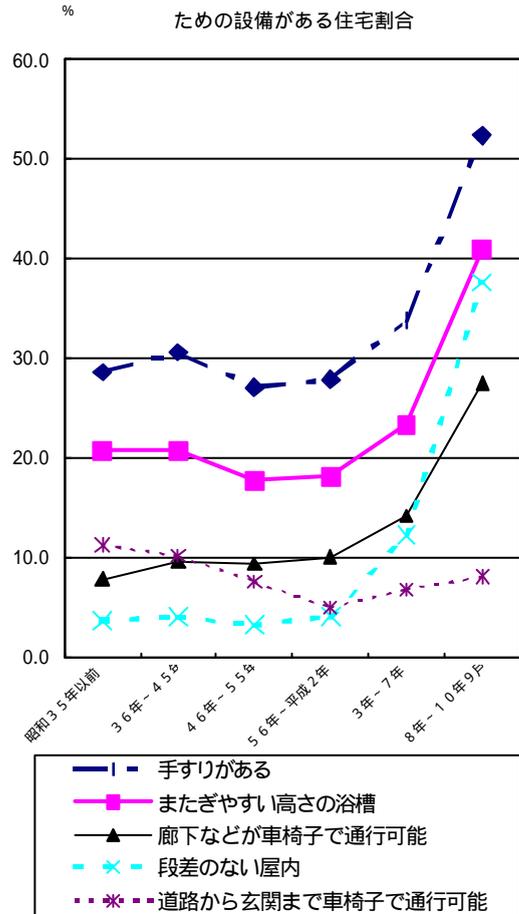
全国をみると、住宅総数43,891,600戸、高齢者等の設備がある住宅は17,848,900戸で40.7%となり、本県は全国平均を少し上回っています。（全国数値は速報値）

また、高齢者等のための設備がある住宅の割合を建築の時期別にみると、昭和35年以前に建築された住宅では、「手すりがある」が28.6%「またぎやすい高さの浴槽」が20.7%などとなっているのに対し、平成3年～7年に建築された住宅ではそれぞれ33.8%23.3%平成8年以降に建築された住宅では、それぞれ52.3%、40.9%と、最近建築された住宅でその割合は高くなってきています。

高齢者等のための設備



建築の時期別にみた高齢者等のための設備がある住宅割合



(単位：%)

建築の時期	手すりがある	またぎやすい高さの浴槽	廊下などが車椅子で通行可能	段差のない屋内	道路から玄関まで車椅子で通行可能
昭和35年以前	28.6	20.7	7.8	3.6	11.2
36年～45年	30.6	20.7	9.6	4.0	10.1
46年～55年	27.0	17.7	9.3	3.2	7.6
56年～平成2年	27.8	18.1	10.0	4.0	4.9
3年～7年	33.8	23.3	14.2	12.2	6.8
8年～10年9月	52.3	40.9	27.5	37.6	8.1